



Infor LN 条件ユーザガイド

重要事項

本書に含まれる資料（あらゆる補足情報を含む）は、Inforの機密及び専有情報に相当し、かつそれを含むものです。

添付を使用するにあたり、使用者は、当該資料（当該資料のあらゆる修正、翻訳または翻案を含む）、すべての著作権、企業秘密、及びそれに関係するすべてのその他権利、権原及び利益はInforが独占所有するものであり、使用者には、別の契約（この別契約の契約条項によって、貴社の当該資料及びすべての関連する補足情報の使用が規定されます）に基づいてInforより貴社に使用許諾されたソフトウェアに関連し、またその使用を促進することのみを目的（以下、「目的」という）として、当該資料を使用するための非独占的権利以外、使用者の閲覧に基づく権利、権原及び利益（すべての修正、翻訳または翻案を含む）は付与されるものではないことを認識し、それに同意するものとします。

更に、同封の資料を使用するにあたり、使用者は、使用者が当該資料を極秘扱いで保管しなければならないこと、そして使用者の当該資料の使用は上述の「目的」に限定されることを認識し、それに同意するものとします。Inforは、本書に含まれる内容に誤りや洩れがないよう細心の注意を払っていますが、本書に含まれる内容が完全なもので、誤植やその他の誤りがなく、使用者の個別の要望を満たすことは保証しません。したがって、Inforは、本書（あらゆる補足情報を含む）の誤りまたは不備により、またはそれに関連して生じたあらゆる個人または団体に対する、あらゆる間接的または直接的損失または損害について、その誤りまたは不備が過失、事故またはその他の理由によるものであるかどうかにかかわらず、一切の責任を負わず、かつそれを放棄するものとします。

使用者の本資料の使用は、米国輸出管理法及びその他に限定しない輸出入の適用法に準拠するものとし、使用者は、本資料及びあらゆる関係資料または補足情報を当該法律に違反して、直接的または間接的に輸出または再輸出してはならず、またこれらの資料を当該法律により禁止されるいかなる目的にも使用してはなりません。

商標確認

ここに示す文字標章及び図形標章は、Infor及び/またはその関連会社ならびに子会社の商標または登録商標、あるいはその両方です。無断複製・転載を禁ず。参照されるすべての他の社名、製品名、商標名またはサービス名は各所有者の登録商標または商標です。

発行情報

文書コード	comtrmug (U9499)
リリース	10.5 (10.5)
発行日	2017 年 12 月 21 日

目次

文書情報

第1章 条件の概要.....	7
条件の概要.....	7
条件の指定.....	7
条件テンプレート.....	7
条件の取得.....	8
第2章 条件の設定.....	9
条件の設定.....	9
条件マスタデータ.....	9
条件合意.....	10
第3章 条件テンプレート.....	13
条件テンプレート.....	13
テンプレートに基づく条件合意の生成.....	13
テンプレートに基づく条件合意の更新.....	14
テンプレートとの照合による条件合意の有効性の確認.....	15
第4章 条件の取得.....	17
条件の取得.....	17
条件の取得のシミュレート.....	18
販売条件および購買条件の取得.....	18
内部条件の取得.....	19
例: 条件の取得.....	19
付録A 用語集.....	23

索引

文書情報

この文書では、条件契約の作成、使用、取得の手順について説明します。条件契約には、取引先間に適用される規則 (特に、商品の販売、購買、転送に関連する状況)、およびオーダー、スケジュール、計画、ロジスティック、請求、需要ペギングに関する詳細情報が記載されます。

本書の概要

章番号	内容
第 1 章	条件の概要
第 2 章	条件の設定
第 3 章	条件テンプレート
第 4 章	条件の取得

本書の使い方

本書は、オンラインヘルプトピックから作成されたものです。そのため、他のセクションへの参照は、次のように表示されます。

詳しくは、「概要」を参照してください。参照先のセクションを見つけるには、目次を参照するか、文書の最後にある索引を使用してください。

本書の巻末には、用語集が用意されています。用語集で説明されている用語は、次のように表示されます。

共通情報では、住所を取引先にリンクさせることができます。

本書をオンラインで表示する場合は、このような用語をクリックすると、用語集の定義が表示されます。

コメント

弊社は常に文書の見直しや改善を行っていますが、この文書に関するご意見、ご要望などありましたら、documentation@infor.com にご連絡ください。

送信の際には文書番号およびタイトルを明記してください。情報が具体的であるほど迅速な対応が可能です。

Infor へのお問い合わせ

Infor 製品に関するお問い合わせは、Infor Xtreme Support ポータル www.infor.com/inforxtreme をご利用ください。

製品リリースに関する更新情報は、この Web サイトに掲載いたします。このサイトを定期的にご確認ください。

Infor ドキュメントに関するご質問・ご意見は、documentation@infor.com までご連絡くださいますようお願いいたします。

条件の概要

販売業者管理在庫 (VMI)、外注、引当などの機能を会社で使用する場合、取引先間で複数の条件が適用されます。特定の状況において取引先間に適用されるすべての条件を登録するため、条件合意を指定できます。

条件合意とは、商品の販売、購買、転送に関する取引先との間の契約であり、オーダ、スケジュール、計画、ロジスティック、請求、需要ペギングについて詳細な条件が含まれ、正しい条件を取得するための検索メカニズムを使用できます。たとえば、特定の機能に関する商品の財務所有権についての条件を指定できます。

契約には次が含まれます。

- 合意タイプと取引先が記載されたヘッダ
- 検索優先順位、選択した検索属性 (フィールド) とリンクしている条件グループから構成される検索レベル
- 検索レベルの検索属性値が示される 1 つまたは複数のライン
- ラインのオーダ、スケジュール、計画、ロジスティック、請求、需要ペギングについて詳細な条件が示される条件グループ

注意

条件合意を使用するには、購買合意を購買契約に、販売合意を販売契約に、内部合意を企業単位関係に、それぞれあらかじめリンクしておく必要があります。

条件の指定

詳細は、次の情報を参照してください: 条件の設定 (ページ 9)

条件テンプレート

条件合意には、多くのデータを入力できます。データ入力を容易にするため、条件テンプレートにデフォルトのデータを保存しておくことができます。テンプレートは、リンクしている取引先を持たない、業務プロセスを表すデフォルトの条件合意です。テンプレートデータの詳細レベルはユーザが定義できます。このテンプレートをベースにして、取引先について新しい条件合意を簡単に生成することができます。

条件テンプレートにより、次の処理も可能です。

- 特定のテンプレートから導出された複数の既存の条件合意を同時に更新できます。
- 生成された条件合意が、テンプレートによって示される業務プロセスに適合しているか確認できます。

詳細は、次の情報を参照してください: 条件テンプレート (ページ 13)

条件の取得

条件を使用した場合、包括的な検索メカニズムによって、特定の商品の販売、購買、または転送について正しい条件が取得されます。

詳細は、次の情報を参照してください: 条件の取得 (ページ 17)

条件の設定

取引先間で合意した条件を条件合意に保存しておくことができます。

条件マスターデータ

条件合意を定義するには、次のマスターデータを設定します。

ステップ 1: 導入済ソフトウェア構成要素 (tccom0100s000)

導入済ソフトウェア構成要素 (tccom0100s000) セッションで、次のチェックボックスをオンにします。

- [条件]
- [内部所有権] または [外部所有権]

ステップ 2: 倉庫セット (tctrm0610m000)

倉庫グループに対して条件を定義するには、倉庫セットを定義し、倉庫セット (tctrm0610m000) セッションで倉庫をリンクします。

倉庫を自動で倉庫セットにインポートするには、倉庫セットの生成 (tctrm0210m000) セッションを使用します。

ステップ 3: 属性セット (tctrm0601m000)

条件合意のそれぞれのタイプ ([購買]、[販売]、または [内部]) について、属性セットとその属性セットとリンクする検索属性を定義します。属性セットとリンクしていない検索属性 (フィールド) については、条件を設定できません。

倉庫セットを定義してある場合、その条件を設定するには、その倉庫セットを検索属性として属性セットにリンクする必要があります。

ステップ 4: 条件パラメータ (tctrm0100m000)

セッションの目的: 次を行います。

- すべての条件合意について番号グループを定義します。
- 異なる条件タイプについてシリーズを定義します。

- 条件属性セットを異なる条件タイプにリンクします。
- 内部条件合意内で品目を検索する方法を定義します。

条件合意

マスタデータを定義したら、条件合意を設定します。

ステップ 1: 条件 (tctrm1600m000)

条件 (tctrm1600m000) セッションで、次を入力します。

- 合意タイプと取引先から構成される合意ヘッダ
- 検索レベル。次のようなものが含まれます。
 - 一連の検索属性 (フィールド)。条件ラインでさらに指定できます。
 - 条件ラインを検索および選択するための優先順位
 - リンクしている一連の条件グループ。条件ライン (tctrm1620m000) セッションで詳細を定義できます。

ステップ 2: 検索条件検索レベル (tctrm1610m000)

検索条件検索レベル (tctrm1610m000) セッションを開始するには、条件 (tctrm1600m000) セッションで検索レベルをダブルクリックします。

検索条件検索レベル (tctrm1610m000) セッションを使用して、次を行います。

- 特定の検索条件検索レベルを定義します。
- 条件ラインを検索レベルにリンクします。条件ラインに、検索条件検索レベルの検索属性の値を入力します。つまり、条件グループに記録されている詳細な条件を適用するフィールドを指定します。

ステップ 3: 条件ライン (tctrm1620m000)

条件ライン (tctrm1620m000) セッションを開始するには、検索条件検索レベル (tctrm1610m000) セッションでラインをダブルクリックします。このセッションでは、取引先と合意した条件の詳細を指定します。

条件ライン (tctrm1620m000) セッションを使用して、次を行います。

- 特定の条件ラインを定義します。
- 条件 (tctrm1600m000) セッションおよび検索条件検索レベル (tctrm1610m000) セッションであらかじめ選択した条件グループについて、条件の詳細を定義します。
次のような詳細を定義できます。
 - オーダ
 - スケジュール
 - 計画
 - ロジスティック
 - 請求
 - 需要ペギング

注意

テンプレートから条件合意を生成するには、テンプレートから条件を生成 (tctrm2200m000) セッションを使用します。詳細については、条件テンプレート (ページ 13)を参照してください。

条件テンプレート

条件テンプレートを使用して、次を実行します。

- 取引先に新しい条件合意を生成する
- 既存の条件合意を更新する
- 条件合意を検証する

テンプレートに基づく条件合意の生成

テンプレートは、どの取引先にも適用されない一般的な条件合意です。通常、テンプレートデータは業務プロセスを表します。取引先に対する条件の設定には、データのコピー元となるテンプレートを使用できます。このため、条件テンプレートにデフォルトのデータを保存しておくことで、条件合意におけるデータ入力が簡単になります。

テンプレートから合意を生成するには、次の手順を実行する必要があります。

ステップ 1: マスタデータの設定

条件マスタデータを設定します。詳細は、次の情報を参照してください: 条件の設定 (ページ 9)

ステップ 2: テンプレートヘッダの指定

条件 - テンプレート (tctrm1600m100) セッションで、テンプレートを指定して条件タイプを選択します。

ステップ 3: 異なるレベルでのテンプレートデータの指定

さまざまなレベルでテンプレートに多くのデータを追加できます。テンプレートデータの詳細レベルはユーザが定義できます。

たとえば、テンプレートに次を取り込むことができます。

- 検索レベル
- 検索レベル、ライン、および条件の詳細
- 検索属性が空の 1 つの検索レベル、ライン、条件の詳細
- 属性が設定された検索レベル、属性が空のライン、詳細な条件

次のセッションでさまざまなレベルを指定できます。

- 条件 (tctrm1600m000)
- 検索条件検索レベル (tctrm1610m000)
- 条件ライン (tctrm1620m000)

詳細は、次の情報を参照してください: 条件の設定 (ページ 9)。

ステップ 4: テンプレートからの条件合意の生成

テンプレートから条件を生成 (tctrm2200m000) セッションで、新しく生成する契約に基づくテンプレートを指定します。

- このセッションを購買契約 (tdpur3600m000) セッションまたは販売契約 (tdsls3600m000) セッションから開始した場合、新たに生成された合意は自動的に ([フリー]) 契約にリンクします。
- このセッションを内部条件関係 (tcitr2140m000) セッションから開始した場合、新たに生成された内部合意は自動的に企業単位関係にリンクします。

属性が空のラインと詳細な条件がテンプレートに含まれる場合、新たに生成された合意にはヘッダと検索レベルだけが取り込まれます。このため、条件ライン (tctrm1620m000) セッションまたは契約条件ライン (tctrm1120m000) セッションで、次を行う必要があります。

- 条件ラインをマニュアルで入力します。
- 適切なメニューで[デフォルト条件の生成]をクリックして、テンプレートから詳細な条件をコピーします。

テンプレートに基づく条件合意の更新

ビジネスプロセスの変更に伴い、テンプレートにも変更を加えることができます。テンプレートに加えた変更は、テンプレートから生成した条件合意にコピーできます。

テンプレートの変更に伴い条件合意を更新するには、次の手順を実行します。

ステップ 1: テンプレートから派生した契約条件 (tctrm2100m000)

テンプレートから条件合意を生成する場合、テンプレートから派生した契約条件 (tctrm2100m000) セッションが更新され、このセッションを使用して、一括更新処理にどの条件合意を取り込むか表示されます。一括更新処理では、テンプレートに加えた変更がリンクしている条件合意にコピーされます。

ステップ 2: テンプレート変更 (tctrm2105m000)

少なくとも 1 つの条件合意がテンプレートから生成されると、テンプレートに加えた変更がテンプレート変更 (tctrm2105m000) セッションに登録されます。

次のタイプの変更が登録されます。

- [追加]
新規レコードをテンプレートに追加する
- [削除]
テンプレートからレコードを削除する

- [変更]
テンプレートのフィールドに変更を加える

テンプレートの変更を一括更新処理に取り込むには、[一括更新で使用] チェックボックスをオンにします。

ステップ 3: 条件の一括更新 (tctrm2205m000)

このセッションを使用して、テンプレートに加えた変更に基づき、テンプレートから派生した条件合意を一括更新します。

このセッションでは、更新する合意タイプを選択する必要があります。また、次のチェックボックスをオンにすることもできます。

- [シミュレート]
処理は実行されますが、テンプレートの変更に基づく合意の更新はまだ行われません。たとえば、このチェックボックスを使用して、合意を更新する前に、エラーレポートを生成し、エラーをチェックすることができます。
- [マニュアル変更の上書き]
条件合意の該当するデータが、テンプレートの変更データに上書きされます。このため、条件合意のデータをマニュアルで変更してある場合、これらの変更は上書きされてしまいます。このチェックボックスをオンにしなければ、テンプレートの[古い値]が条件合意の現在の値と同じ場合に限り、条件合意データをテンプレートの変更データに上書きします。
- [テンプレート変更の削除]
テンプレートの変更に合わせて条件合意が更新された後、テンプレートの変更がテンプレート変更 (tctrm2105m000) セッションから削除されます。また、テンプレート変更の一括削除 (tctrm2205m100) セッションでテンプレートの変更を削除することもできます。

テンプレートとの照合による条件合意の有効性の確認

テンプレートと照合して条件合意の有効性を確認するには、まず条件 - 検索 (tctrm2150m000) セッションから検索シミュレーション処理を実行する必要があります。詳細は、次の情報を参照してください: 条件の取得 (ページ 17)

有効性確認処理を有効にするには、次の手順を実行します。

1. 条件 - 検索 (tctrm2150m000) セッションの [有効性確認テンプレート] フィールドで、テンプレートを指定します。
2. 条件 - 検索結果 (tctrm2151m000) セッションの適切なメニューで、[有効性確認テンプレートとの照合の出力] をクリックします。入力した [有効性確認テンプレート] に対して、取得された条件合意の有効性が確認されます。
3. 条件 - 検索 (tctrm2150m000) セッションで定義されている検索属性について、該当する条件が取得されます。
4. 同じ検索属性について、該当する条件が有効性確認テンプレートから取得されます。
5. 有効性確認テンプレートと値が異なる条件については、レポートにアスタリスクマークが付けられます。

条件の取得

特定の商品の販売、購買、または転送に関する条件は、[有効] 契約または企業単位関係からデフォルトでオーダまたはスケジュールに設定することができます。

このため、定義した条件合意を次のセッションでリンクさせる必要があります。

- 購買条件合意は、購買契約 (tdpur3600m000) セッションまたは購買契約 (tdpur3100m000) セッションで通常の購買契約にリンクさせます。
- 販売条件合意は、販売契約 (tdsls3600m000) セッションまたは販売契約 (tdsls3500m000) セッションで通常の販売契約にリンクさせます。
- 内部条件合意は、内部条件関係 (tcitr2140m000) セッションで企業単位関係にリンクさせます。

条件合意は上記のセッションで次のようにリンクさせることができます。

- 条件 (tctrm1100m000) セッションからマニュアルで合意を選択します。
- テンプレートから合意を生成します。該当するセッションに自動的にリンクされます。テンプレートから条件を生成 (tctrm2200m000) セッションを開始するには、適切なメニューの[テンプレートから条件を生成]をクリックします。詳細は、次の情報を参照してください: 条件テンプレート (ページ 13)

契約に次をリンクできます。

- 条件合意と契約ライン
- 条件合意のみ。契約ラインはなし
- 契約ラインのみ。条件合意はなし

このため、条件と契約ラインは個別に取得され、次のようになります。

- 条件は取引先と検索日に基づいて取得されます。
- 契約ラインは検索日や複数のフィールド (取引先、品目、契約オフィスなど) に基づいて取得されます。

注意

検索日の設定方法は、次のとおりです。

条件		契約ライン			
購買オーダー/スケジュール	販売オーダー/スケジュール	購買オーダー	販売オーダー	購買スケジュール	販売スケジュール
購買オーダーパラメータ (tdpur0100m400) の [条件の検索日]	販売オーダーパラメータ (tdsls0100s400) の [条件の検索日]	価格設定パラメータ (tdpcg0100m000) の [購買価格日付タイプ]	価格設定パラメータ (tdpcg0100m000) の [販売価格日付タイプ]	現在の日付	現在の日付

条件の取得のシミュレート

条件をデフォルトでオーダーまたはスケジュールに設定する前後に、その取得をシミュレートし、特定の状況においてどの条件が有効であるのか確認することができます。

次のセッションから検索シミュレーション処理を開始します。

- 購買オーダーライン (tdpur4101m000)、販売オーダーライン (tdsls4101m000)、入庫オーダーライン (whinh2110m000)、出庫オーダーライン (whinh2120m000) セッションの適切なメニューで [条件] をクリックします。オーダーラインのデータに基づいて、条件が表示されます。
- 条件 - 検索 (tctrm2150m000) セッション。このセッションでは、ユーザ独自の検索属性と [検索日付] を入力する必要があります。

条件の検索結果は次のセッションに表示されます。

- 条件 - 検索結果 (tctrm2151m000) ([販売] 合意および [購買] 合意)
- 条件 - 検索結果 (tctrm2151m300) ([内部] 合意)

条件 - 検索結果ログ (tctrm2151m200) セッションでは、条件検索の結果を取得するために LN で実行される手順を表示できます。

販売条件および購買条件の取得

LN では、次の処理が行われます。

1. [条件タイプ]、販売先取引先または購買元取引先、および [検索日付] に基づいて、対応する取引先に [有効] な販売契約または購買契約を決定します。
2. 見つかった販売契約または購買契約から [条件 ID] を読み込みます。
3. 条件合意について、検索属性と [検索日付] に基づき、取引先に適用される詳細な条件を決定します。

注意

オーダーラインについて [有効] な契約から条件を取得するため、契約がオーダーラインにリンクしている必要はありません。有効な契約ラインがオーダーラインにリンクしている場合に限り、オーダーラインに契約番号が設定されます。

企業計画で、一定範囲のデータについて条件が必要になることがあります。このような場合、LN により、その期間について、さまざまな契約から取得した、有効な条件が返されます。

内部条件の取得

LN では、次の処理が行われます。

1. [開始企業単位]、[終了企業単位]、および [検索日付] に基づいて、内部取引先に適用される企業単位関係を決定します。
2. 見つかった企業単位関係から [内部条件 ID] を読み込みます。
3. 条件合意について、検索属性と [検索日付] に基づき、内部取引先に適用される詳細な条件を決定します。

注意

内部条件の検索には、開始品目と終了品目が使用されます。このため、2つの条件レコードが適用可能です。条件パラメータ (tctrm0100m000) セッションの [品目転送の検索順序] フィールドでは、どの品目に最高優先順位が割り当てられているかを確認します。

例: 条件の取得

購買元取引先 GWABC について、次の条件が購買契約 AVK000026 にリンクされているとします。

[条件タイプ]	購買
[条件 ID]	PUR000028
[購買元取引先]	GWABC

合意 PUR000028 について各種条件グループで定義されている詳細な条件はすべて購買オードの検索日に有効です。

条件 (tctrm1600m000) セッションで、次の検索条件検索レベルが合意 PUR000028 に定義されています。

検索レベル	優先順位	属性 1	属性 2	オード	計画	ロジスティック	請求	ペギング
1	10	品目	適用なし	なし	なし	なし	なし	あり
		201060.000						
2	20	品目	倉庫	あり	なし	なし	なし	なし
		201075.000 S033						
		201080.000 S034						

3	30	品目グループ	倉庫	なし	あり	あり	なし	なし
		GWS	S033					
		001	S050					
4	40	請求元取引先	適用なし	なし	なし	なし	あり	なし
		GWABC						
5	50	適用なし	適用なし	あり	なし	なし	あり	なし

検索レベルごとに、この表にイタリックで示される属性値が検索条件検索レベル (tctrm1610m000) セッションに入力されます。この表のありとなしは、該当する条件グループに対して詳細な条件があるかないかを示しています。

注意

購買条件の場合、倉庫は入庫倉庫になります。販売条件の場合は、倉庫は納入先倉庫です。

購買オーダー (tdpur4100m900) セッションに、次の購買オーダーラインが存在します。

購買オーダー イン	請求元取引先	品目	品目グループ	倉庫
10	GWABC	201060.000	GWS	S033
20	GWABC	201075.000	GWS	S033
30	GWABC	201080.000	GWS	S034
40	GWABC	201095.000	001	S101

購買オーダーラインについて、次の条件が取得されます。

取得される条件				
購買オーダー イン	オーダー	計画	ロジスティック 請求	需要ペギング

10	検索レベル 5	検索レベル 3	検索レベル 4	検索レベル 1
20	検索レベル 2	検索レベル 3	検索レベル 3	検索レベル 4
30	検索レベル 2		検索レベル 4	
40	検索レベル 5		検索レベル 4	

オーダーラインの条件を取得するには、購買オーダ (tdpur4100m900) セッションでラインを選択し、適切なメニューで [条件] をクリックします。

- オーダーライン 10
 オーダ条件は検索レベル 5 から取得されます。検索レベル 5 について検索属性が定義されていないため、この条件はすべての検索属性の組合せに適用されます。また、検索レベル 2 にもオーダ条件が定義されています。ただし、オーダーライン 10 の品目 201060.000 はレベル 2 の検索属性品目 201075.000 または品目 201080.000 と一致していないため、これらの条件はライン 10 には適用されません。
 ロジスティック条件は検索レベル 3 から取得されます。これは、このレベルの検索属性品目グループ GWS および検索属性倉庫 S033 がオーダーライン 10 の品目グループおよび倉庫と一致するためです。
 請求条件は条件レベル 4 から取得されます。これは、検索属性請求元取引先 GWABC がオーダーラインの請求元取引先と一致するためです。
 需要ペギング条件はレベル 1 から取得されます。これは、ライン 10 の品目が検索レベル属性品目 201060.000 と一致するためです。
- オーダーライン 20
 オーダ条件は検索レベル 2 から取得されます。これは、検索属性品目 201075.000 および倉庫 S033 がオーダーライン 20 の品目および倉庫と一致するためです。
 計画条件とロジスティック条件は検索レベル 3 から取得されます。これは、このレベルの検索属性品目グループ GWS および検索属性倉庫 S033 がオーダーライン 10 の品目グループおよび倉庫と一致するためです。
 請求条件は条件レベル 4 から取得されます。これは、検索属性請求元取引先 GWABC がオーダーラインの請求元取引先と一致するためです。
- オーダーライン 30
 オーダ条件は検索レベル 2 から取得されます。これは、検索属性品目 201080.000 および倉庫 S034 がオーダーライン 20 の品目および倉庫と一致するためです。
 請求条件は条件レベル 4 から取得されます。これは、検索属性請求元取引先 GWABC がオーダーラインの請求元取引先と一致するためです。
- オーダーライン 40
 請求条件は条件レベル 4 から取得されます。これは、検索属性請求元取引先 GWABC がオーダーラインの請求元取引先と一致するためです。
 オーダ条件は検索レベル 5 から取得されます。検索レベル 5 について検索属性が定義されていないため、この条件はすべての検索属性の組合せに適用されます。また、検索レベル 2 にもオーダ条件が定義されています。ただし、レベル 2 の検索属性はライン 40 の品目および倉庫と一致していないため、これらの条件はライン 40 には適用されません。

適切なメニュー

コマンドは、[表示]、[参照]、および [アクション] メニューに分散されているか、ボタンとして表示されます。旧リリースの LN および Web UI では、これらのコマンドは [特定] メニューに配置されます。

引当

出庫処理に先立つ、需要に対する在庫の確保

取引先または特定の需要オーダーに在庫量を引き当てることができます。

注意

販売オーダーなど特定の需要オブジェクトが取引先、オーダー、または参照に引き当てられることを文書に記載している場合があります。その表現は、実際には、その特定の取引先、オーダー、または参照に引き当てられている供給で需要オブジェクトを満たす必要があることを意味します。

倉庫

商品を収容する場所。各倉庫に対して、住所データおよびそのタイプに関するデータを入力できます。

販売業者管理在庫 (VMI)

発注先がそれぞれの顧客や外注先の在庫を管理する際に通常従う在庫管理方法です。また、発注先は供給計画も管理している場合があります。他にも、在庫は顧客が管理し、供給計画は発注先が担当している場合もあります。在庫管理や在庫計画は、ロジスティックサービスプロバイダ (LSP) に外注することもできます。

発注先が納入する在庫は、発注先、または顧客が所有します。多くの場合、在庫の所有権は顧客が在庫を消費する際に発注先から顧客に変更されますが、契約で規定されている時期に所有権の移行が生じることもあります。

販売業者管理在庫は、計画や資材の調達に関連する内部コストを削減できるほか、販売業者はサプライチェーンを明確に把握しながらそれぞれの在庫をよりよく管理できます。

外注

品目に関わる作業を別の会社 (外注先) に委託すること。製造工程全体を委託することも、製造工程における 1 つまたは複数の作業だけを委託することもできます。

取引先

顧客または発注先などの、商取引を行う当事者。顧客や発注先となる部署を組織内で取引先として定義することもできます。

取引先の定義には次の情報が含まれます。

- 組織の名前と主要な住所
- 使用される言語と通貨
- 課税および法定 ID データ

取引先の担当窓口担当者を取引先とします。取引先の状況によって、処理が実行可能かどうかが決まります。処理のタイプ (販売オーダー、請求書、支払、出荷) は取引先の役割で定義します。

販売契約

販売契約は、商品の納入について、販売先取引先との合意を登録するために使用します。

契約は次の要素で構成されます。

- 一般取引先データが記載され、オプションで条件合意が記載された販売契約ヘッダ
- 品目または価格グループに適用される価格/値引合意および数量情報を持つ、1つまたは複数の販売契約ライン

番号グループ

特定の用途に割り当てることができる、先頭空番号のグループ

たとえば、次の用途に対して番号グループを割り当てることができます。

- 取引先コード
- 購買契約
- 販売オーダー
- 製造オーダー
- サービスオーダー
- 倉庫オーダー
- 輸送オーダー

1つの番号グループには複数のシリーズを定義できます。各シリーズはシリーズコードで識別します。自動生成されるシリーズ番号は、シリーズコードの末尾にそのシリーズの先頭空番号を組み合わせたものです。同一の番号グループには同じ桁数のシリーズコードを定義する必要があります。

シリーズ

同じシリーズコードで始まるオーダー番号または伝票番号のグループ。

シリーズにより、特定の特徴を持つオーダーを識別することができます。たとえば、大きな会計オフィスが処理する全販売オーダーは LA (LA00000001、LA00000002、LA00000003 など) で始まります。

購買契約

購買契約を使用して、特定商品の納入に関する購買元取引先との特定合意を登録します。

契約は次のもので構成されます。

- 一般取引先データが記載され、オプションで関連条件合意が記載された購買契約ヘッダ
- (集中) 価格合意、ロジスティック合意条件、および数量情報が含まれる 1 つ以上の購買契約ライン。品目または価格グループに適用されます。
- ロジスティック合意条件および数量情報が含まれる購買契約ライン詳細。マルチサイト法人の特定サイト(倉庫)の品目または価格グループに適用されます。この契約ライン詳細があるのは、法人購買契約の場合だけです。

住所

アドレス関連の完全な詳細セットには、郵便住所または電話、ファックスおよびテレックスの番号、Eメール、インターネットのアドレス、課税目的の識別情報、および工順情報が含まれます。

企業単位関係

マルチサイト組織の 2 つの企業単位間の関係を識別します。

内部取引先

同じロジスティック会社内の企業単位を意味する取引先。内部取引先を使用すると、企業単位間の商品フローを、該当する財務上の関係(請求や価格設定に関する取決めなど)とともにモデル化することができます。内部取引先についてのすべての取引先役割を定義する必要があります。

条件合意

商品の販売、購買、転送に関する取引先の間の契約であり、オーダ、スケジュール、計画、ロジスティック、請求、需要ペギングについて詳細な条件を定義し、正しい条件を取得するための検索メカニズムを定義できます。

契約には次が含まれます。

- 合意タイプと取引先が記載されたヘッダ
- 検索優先順位、選択した検索属性(フィールド)とリンクしている条件グループから構成される検索レベル
- 検索レベルの検索属性値が示される 1 つまたは複数のライン
- ラインのオーダ、スケジュール、計画、ロジスティック、請求、需要ペギングについて詳細な条件が示される条件グループ

条件属性セット

検索条件検索レベルで使用する、条件タイプが同じ検索属性をまとめたセット

条件タイプについて、属性セットとリンクしていない検索属性は、条件合意に入力することはできません。

条件グループ

条件ラインのオーダ、スケジュール、計画、ロジスティック、請求、需要ペギングについて詳細な条件が示されるグループ

条件ライン

検索条件検索レベルの検索属性の値を保持します。このため、条件ラインにより、条件グループに格納されている詳細な条件が適用されるフィールドが指定されます。

条件検索属性

検索条件検索レベルで選択され、条件ラインで指定、検索される要素 (フィールド)

検索条件検索レベル

条件ラインを検索および選択するための優先順位。検索レベルには、選択した検索属性 (フィールド) とリンクしている検索グループが含まれます。

条件テンプレート

リンクしている取引先を持たない、業務プロセスを表すデフォルトの条件合意。テンプレートデータの詳細レベルはユーザが定義できます。

テンプレートを使用して、次を行うことができます。

- 取引先用に新しい条件合意を生成する
- 既存の条件合意を更新する
- 条件合意を検証する

条件タイプ

条件合意または条件テンプレートのタイプを定義し、検索属性のセットとリンクします。条件タイプごとに固有の検索属性があります。

次の条件タイプが利用可能です。

- 購買
購買条件合意は購買契約とリンクさせることができます。
- 販売
販売条件合意は販売契約とリンクさせることができます。
- 内部
内部条件合意は企業単位関係とリンクさせることができます。

倉庫セット

類似の特徴を持つ倉庫グループ。倉庫は、特定の 1 つの倉庫セットに属することができます。

索引

条件

- テンプレート, 13

- 概要, 7

- 取得, 17

- 設定, 9

設定

- 条件, 9

適切なメニュー, 23

テンプレート

- 条件, 13

引当, 23

倉庫, 23

販売業者管理在庫 (VMI), 23

外注, 23

取引先, 24

販売契約, 24

番号グループ, 24

シリーズ, 24

購買契約, 25

住所, 25

企業単位関係, 25

内部取引先, 25

条件合意, 25

条件属性セット, 25

条件グループ, 25

条件ライン, 26

条件検索属性, 26

検索条件検索レベル, 26

条件テンプレート, 26

条件タイプ, 26

倉庫セット, 26
